

地域における母子保健と母子福祉の連携に関する研究 分担研究報告(総括)

分担研究者 日 暮 眞

【研究の目的】

地域における母子保健と福祉とは、担当する施設や要員が地域により多様であるため、それぞれの課題解決のための連携活動や協力体制が十分行われない部分が少なくない。保健所、市町村の母子保健担当部局、保育所、児童館、児童相談所等の連携を密にし、さらに地域内の医師会、医療機関、教育関係者、ボランティア活動グループ等とも協力して、それぞれの役割分担のあり方を検討し、母子の心身の健康づくりに役立つシステムを構築することを目的とした。そのため以下のごとき研究グループを構成して実践的研究を行った。

【研究方法】

- (1) 地域母子保健システムと児童福祉施設の連携に関する研究 (巷野 悟郎)
- (2) 障害児医療・療育・福祉の連携と包括化に関する研究 (日暮 眞)
- (3) 統合保育のあり方と効果に関する研究 (石井 哲夫)
- (4) 母子保健と社会福祉の連携に関する国際的動向の研究 (堀口 貞夫)
- (5) 在日外国人の母子保健の現状と対策に関する研究 (吉岡 毅)

【研究の結果】

巷野グループは、地域現場での児童福祉施設と医療機関、保健所との連携に関する課題への切込みを実施しつつある。

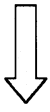
日暮グループは、山陰・沖縄・山梨・高知・茨城・東京三多摩といった地域背景の異なるところでの障害児ケアの実態とケアに関わる各機関の連携の場での課題調査を実施している。

石井グループは、障害児保育指針ともいえるべき障害児保育に関するマニュアル作成の準備作業を行っている。

堀口グループは、欧米における母子保健専門職の教育・資格の再検討、見直しの必要性についての国際動向、児童虐待への対応の国際動向等を調査した。

吉岡グループは、新宿区における在日外国人の妊娠・出産の状況調査報告を行った。

なお、詳しくは上述の各研究グループごとの報告を参照されたい。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



【研究の目的】

地域における母子保健と福祉とは、担当する施設や要員が地域により多様であるため、それぞれの課題解決のための連携活動や協力体制が十分行われな部分が少ない。保健所、市町村の母子保健担当部局、保育所、児童館、児童相談所等の連携を密にし、さらに地域内の医師会、医療機関、教育関係者、ボランティア活動グループ等とも協力して、それぞれの役割分担のあり方を検討し、母子の心身の健康づくりに役立つシステムを構築することを目的とした。そのため以下のごとき研究グループを構成して実践的研究を行った。